

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サイボーグ・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サイボーグ・パール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：サイボーグ

フレアーの幅 インチ

表面加工

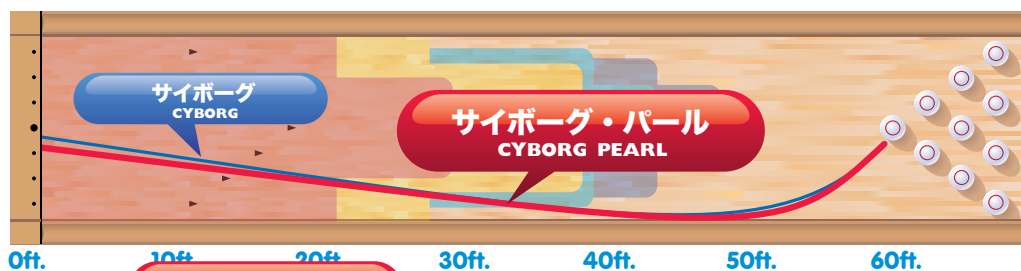
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

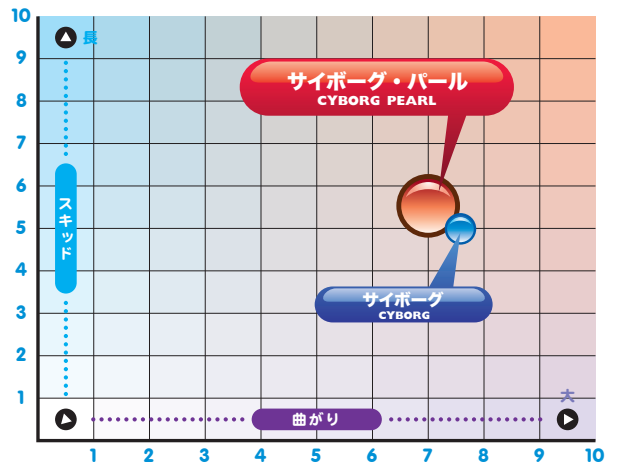
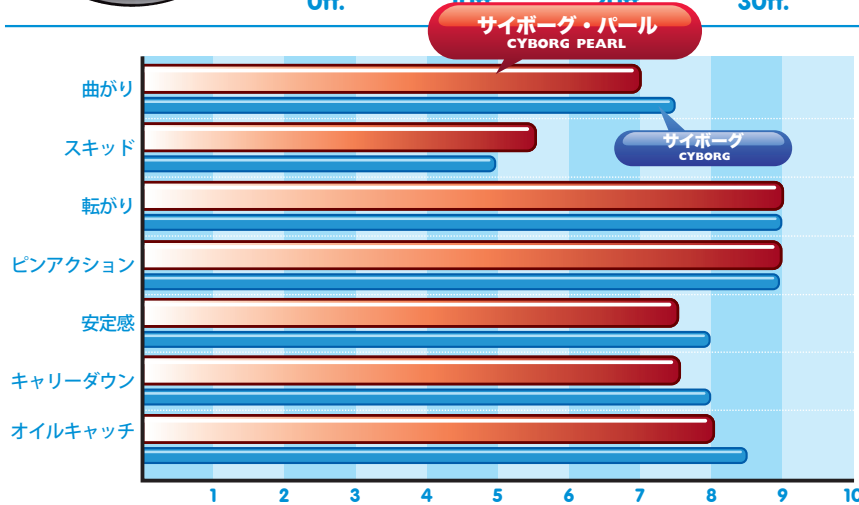
4-1/2 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

CYBORGはTRACK社でも先で動く設計のボールですが、CYBORG PEARLはさらに先での動きが協調されていて、鋭いフィニッシュを感じて頂けるでしょう。私の中でCYBORG PEARLのPearl Coverstockは非常にバランスの良い調合だと思います。それはPearl素材でもスキッドし過ぎるような弱さを感じられませんが、ドライエリアでのグリップ感が俊敏で、他社と比べても明確に動いているのを感じるからです。将来的にこのCoverstockをもとに開発が進むと、「光っていてもオイルに強く、ドライエリアの動きが俊敏」な性能のボールが多く輩出されることを予感させる仕上がりです。

今やボールを複数保持してコンディション別にボールのレパトリーを組んだ場合、どうしてもその中に一つは先で角度のある動くボールが必要になります。それを今まで他社メーカーで補っていた方は是非このCYBORG PEARLを使用して頂き、Backend motionを見て下さい。CYBORGよりもさらに攻撃的にCYBORG CoreのAggressiveなポテンシャルをみるようになります。先で動きが出せるCYBORG Coreはドリル後もその特性が維持できるように設計されているTRACK社の中で最も汎用性の高いCoreです。

CYBORGとCYBORG PEARLを比較投球してみると、コンセプト通りにCYBORGのほうが曲がり始めが早く感じます。CYBORG PEARLはその曲がりはじめを越えてスキッドを感じますが、先でのしっかりとした曲りを感じますので、出し戻しが優位なライン取りのコンディションになるとCYBORG PEARLのほうが曲りが大きくなる場合があります。ただ単に曲がるだけでなく、しっかりと曲り戻せる性能があるからこそ曲りが逆転することは皆さんも経験があると思います。是非Mediumコンディションを中心にCYBORG PEARLを使用して下さい。良さを十二分に感じて頂けるはずです。

特記事項

今度のCYBORGは粘り強いPearl素材のCYBORG PEARL。走りとシャープなBackendの動きを感じて下さい。Mediumコンディションの中心的なボールとなるでしょう。